

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課（放課後対策担当）

施設名称		〔40〕 東京都台東区立池之端児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館 8 館、16 こどもクラブ					
(3)経営状況	〔27年度決算ベース〕〔社会福祉事業会計〕 収入2,816,804,521円、支出2,832,987,406円、収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区池之端 2 - 3 - 3					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日を除く）：午前9時30分～午後6時一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC3階建 事務室・遊戯室・図工室・図書室・集会室兼音楽室 池之端こどもクラブ併設					
(6)人員体制	常勤職員4名、短時間職員3名、アルバイト等4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	31,549,000	29,977,000	32,370,000	33,936,000	35,953,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	31,549,000	29,977,000	32,370,000	33,936,000	35,953,000
決算	委託料	34,008,595	32,344,574	32,243,512	33,737,061	32,180,013
	利用料金収入	0		0	0	0
	その他収入	0	18,000	421,431	54,750	37,250
	管理経費	34,008,595	32,362,574	32,664,943	33,791,811	32,217,263
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
開館日数		日	334	333	334	331
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度
利用者数		人	18,000	31,557	36,861	36,123

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

中高生を対象にした次世代育成事業では、子育てを母親だけのものとせず、保育園、主任児童委員、町会女性部長等のお手伝いを頂き、地域の共有財産とした取組みを行った。  
 子育て家庭へは日常的に何でも気軽に話せる関係づくりに努め、相談機能を高めた。  
 地域行事への積極的な参加や連携を図り、地域の子育て資源の発掘を行った。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[-]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	乳幼児親子のニーズを探り、専門機関と連携した子育て・しつけ講座や保護者向け活動を行い、子育て支援の機能強化を図った。
(2)施設の維持管理	A	外から見えやすい外壁の下や館庭に花壇を作り、季節の花や野菜等により景観を良くした。
(3)利用者の満足度	A	子供達の企画による自主活動の支援を行い、お祭りやスポーツ大会などのイベントを多く実施したため、小学6年生の利用者が今年の6倍になった。
(4)収入支出	A	こまめな消灯や、うちの貸し出しを行い、積極的に省エネ・省資源・環境配慮に取り組んだ。メールを推進し、用紙類の削減に取り組んだ。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	乳幼児親子の子育て支援、小学生の自主活動の場の提供、中高生の職業体験やボランティアの受け入れなど地域における児童健全育成の重要な拠点となっている。
-----------	---

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

- ・季節感や楽しさが味わえるような館内装飾、想像力が膨らむような遊具等により、幅広い世代が安心して来館できる環境をより進める。
- ・各町会行事、学校行事への積極的な参加と連携により、地域の子育て資源を発掘をさらに進める。